

知る人ぞ知る

工業技術センター 建設技術研究部の取り組み

建設技術研究部内 福井県建設技術協会制作

◆沿革

1965年に福井県土木部内にて土木工事材料試験場として設置以来、1988年に研究開発を開始し、幾多の改編を経て1995年に雪対策・建設技術研究所(福井市春日3丁目)となりました。2017年に産業労働部工業技術センター内に建設技術研究部として統合され、現在に至ります。

◆所在地

福井市川合鷺塚町61字北稲田10 福井県工業技術センター内(新田塚自動車学校北隣、八ヶ川支川北川や坂井市春江町に接する。)

◆部内職員数

建設技術部長、主任研究員3名、研究員1名、臨時的任用職員1名、会計年度任用職員1名

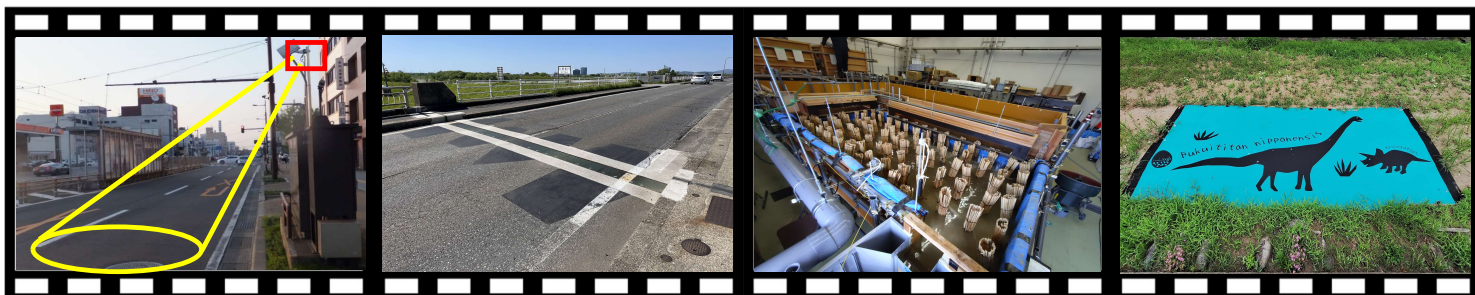
◆事業内容

「福井県工業技術センター中期ビジョン」に基づき、主に以下の事業を行っています。なお、建設技術研究部は特に「炭素繊維」「脱炭素」「リサイクル」を重点開発テーマとし、「融雪技術」「地中熱利用技術」「社会資本診断技術」「社会資本長寿命化対策技術」の高度化を通じて、福井県が抱える社会問題の解決および県内企業の競争力の強化をサポートしていきます。

★研究業務

2025年7月現在にかけて主なものとして以下の研究に産官学を交えて取り組んできました。

- 道路融雪の省エネを実現する、技術支援機能を備えたスマート積雪センサの開発
- メンテナンスに優れた橋梁伸縮装置の研究開発(日光産業(株)、福井高専、福井県)
- 田んぼの貯留機能強化による洪水への抑制効果に関する研究(田んぼダム模型実験装置)(福井高専)
- ジャカード織りによる様々な模様が表現できる、付加価値のある防草シートの開発および評価((株)大喜)



スマート積雪センサ
(仁愛女子高校前)

橋梁伸縮装置
(北野橋・福井市北野上町)

田んぼダム模型実験装置
(工業技術センター実験棟内)

付加価値のある防草シート
((株)大喜敷地内・坂井市丸岡町)

★技術指導・技術相談

- 埋設型伸縮装置に付随する舗装部における耐久性検証
- マイコン画像処理型積雪センサ設定・調整・維持管理方法など

★依頼試験・機器利用

- 小型 FWD 試験機(舗装診断技術含む)
- すべり抵抗性試験機(ポータブルスキッドテスター)など(ロサンゼルス試験機、自動型突固め装置、室内 CBR 試験機の今後導入を計画中)

★研修生受け入れ

- 福井高専より1名、田んぼダム現地データの採取、整理などに参画

★技術移転

- フクイ建設技術フェア 小型 FWD システム舗装診断技術、橋梁伸縮装置、スマート積雪センサなど
- 福井県道路メンテナンス研修 メンテナンスに優れた橋梁伸縮装置の施工見学会((一)大畑松岡線・北野橋)など

★技術交流

- 港湾構造物点検用水上ドローン及び水中構造物の付着物(海藻・貝類)除去ロボット等の開発(ジビル調査設計(株)) など



技術指導

依頼試験

機器利用

研修生受け入れ

技術移転

技術移転